

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

NPO中小企業再生支援第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：社会福祉法人尚徳福祉会日野保育園	種別：保育所	
代表者氏名：平田 三枝子	定員（利用人数）： 70名	
所在地：〒234-0054 横浜市港南区日野中央3-41-1		
TEL：045-833-1849	ホームページ：https://sfg21.com/hino/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2007年4月1日（横浜市より民間移管）		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人尚徳福祉会		
職員数	常勤職員： 34名	非常勤職員 2名
専門職	保育士 27名	看護師 1名
	栄養士 2名	事務職員 1名
	調理師 1名	
施設・設備の概要	保育室 6室	調理室 1室
	調乳室 1室	園庭 259.87㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

- ・子どもたちの健やかな育成の手助けをします。
- ・子どもたちの健康と安全を確保し、安定した心で自己発揮のできる場を提供し、子どもの育ちを見守ります。
- ・家庭と協力し、自己肯定感を育み、感情の抑制のできる健全で豊かな人間性をもった子どもの育ちを援助します。

【保育目標】

- ・子どもは豊かに伸びていく可能性を秘めており、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培います。
- ・心身共に健全で安定した生活を保つことができるように、配慮された環境、雰囲気を整え、子どもたちが自らの様々な欲求を適切に満たすことができるようにします。
- ・子どもたちが自ら考え、判断し、行動できるようにすると共に、一方では感情の抑制もできるようにハードソフト両面で保育環境を整えていきます。
- ・社会生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培います。
- ・集団生活の中で、人に対する愛情と信頼感、そして自己肯定感を育て、周囲への配慮、思いやりを持つことができるようにし、自主自立、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを養います。
- ・集団生活の中で、言葉への興味や関心を育て、表現する力を身につけ、表現する喜びを体験し、人の言うことをよく聞き、理解する態度を養います。
- ・異年齢交流や世代、地域を広げた人との交わりの中で、多くの体験を通して豊かな感性や社会性を育みます。
- ・自然や社会事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培います。

【園目標】

- ・心と体の健康な子
- ・友達といっばい遊ぶ子
- ・自分で考えて行動する子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・感情豊かに表現する子

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

本園を運営する社会福祉法人尚徳福祉会（本部鳥取県米子市）は平成8年に設立認可を受け、病児保育施設「病児看護センターベアーズデイサービス」および、認可保育園「保育園ベアーズ」（現認定こども園ベアーズ）を開設。現在は保育園を神奈川県で9園 東京都11園 そのほか老健など運営しています。

横浜市認可保育所日野保育園は平成19年4月横浜市より移管し今日に至っています。JR京浜東北根岸線洋光台駅より徒歩9分、住宅街の中にあり、定員70名の中規模保育園です。横浜市は待機児童解消の目的で定員超過を認めており現在83名在園しています。886㎡の土地、延べ面積428㎡の2階建て、RC造です。園庭260㎡、固定遊具として鉄棒 昇り棒、丸太小屋があり、鉄扉入り口は暗証番号ロック、防犯カメラ 遮光ネット・組立式プールなど設備しています。

【園の特徴】

<優れた設備>

防犯設備が優れています。2系統あり裏口の入り口を監視する大型スクリーン。異常音もキャッチして知らせます。別の系統は360度撮影のカメラを全部屋に設置、24時間録画、1か月保存できる新鋭機器です。広角カメラは4面撮影可能で部屋中すべてが撮影できます。モニターでは4面が同時に写せません。事故などの様子はカメラで再現できます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年8月1日（契約日） ～ 令和3年2月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（27年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. わくわくするような、行きたくなるような園

園長は子どもがワクワクするような園、安全な園、五感の育成につながる園を目指して環境づくりに励んでいます。保育室では特製の両面棚をあちこちに置き、子どもが両面から取りやすいように玩具や教材を置き、自分で選んで取り出したり、片づけたりできるようになっています。両面棚には小さな容器に入れ、子どもたちの遊ぶ様子や興味の深さを見ながら玩具の入れ替えを行ったり、継続して遊べるように玩具の数を増やしたりして両面棚やつい立てを使ってコーナー分けをし、環境を変化させ、遊びに集中できたり、のんびりと過ごせるように工夫しています。

2. 地域の老人クラブとの年間7回に及ぶ交流

近隣住民の老人クラブ「あじさいクラブ」との交流を年7回、毎年行っています。単発での交流ではなく年間を通しての予定が相手にも伝わり、相互に交流を深め、楽しい行事となっています。6月グランドゴルフ、10月運動会、11月大学芋パーティ（収穫したさつま芋を調理、共に食べる、3、4、5歳全員）、12月お楽しみ

会、1月子ども新年会（ゴマ遊び、羽根つき けん玉 全クラス）、3月お別れ会（幼児クラス会食）など盛りだくさんの内容です。

#### ◇改善を求められる点

##### 1. <期待したい点>大規模保育園経営母体の強みの発揮

本園は社会福祉法人の経営で、神奈川県内9園、東京都内11園の系列園を擁しています。

園相互間の協調を重ね、保育理念、保育方針などの共通化、様式の共通化を図ることにより、伝統の重みを保護者に与えられる基盤を作り上げることが期待します。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審は今回で3回目となりました。前回の受審で3点の改善と工夫をと、ご指摘いただき、この5年間で保育の環境について見直しをしてまいりました。子ども達が好きな玩具を自由に取りだして遊べるスペースの確保、廊下も保育室の一部と考え保育室・廊下・園庭の環境について研修を重ね、【わくわく・ドキドキ・明日も保育園に行きたい】を目標とした保育園作り、そして不審者対策とし園庭、園舎脇に防犯カメラの設置、保育室には360度子ども達の様子が見られるようにし、面談等で保護者の方と一緒にお子さんの様子を参観する事もあります。いつでも保育参観ができるようお声掛けをし、子ども達と一緒に遊んでいかれる保護者の方もおられます。今後もこれらを継続して参ります。

今回の受審で全職員が保育の見直し、運営方針・理念の共通理解する機会をもつ事ができ保育士自身の振り返りに繋がり、更に子どもを中心として【子どもも、保護者も、保育士も共に育ち合い】この言葉を標語に安心・安全な保育園を目指し保育して参ります。

保護者の皆様には、ご多用の中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。今回の結果で足りない部分を認識し、改善していけるよう職員一同で努めてまいります。

最後になりましたが、評価機関の皆様には、今後の課題に気づかせて頂きましたことに感謝いたしております。ありがとうございました。

日野保育園園長 平田三枝子  
職員一同

#### ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり